2026年度第2四半期
決算説明会
（2026年4月～2026年9月）

開催日：2026年11月6日
ジオスター株式会社
（東京都文京区小石川一丁目4番1号）






© GEOSTR. All Rights Reserved.



目次

2026年度第2四半期決算

- 2026年度第2四半期の事業環境 p.3
- 2026年度第2四半期の概況 p.4
  - 受注高・受注残の推移 p.5
  - 連結財政状態・連結キャッシュフロー p.6
  - 連結主要経営指標 p.7
  - 設備投資・減価償却の推移 p.8
  - 株主還元 p.9

2026年度業績予想

- 2026年度業績予想 p.11

中期経営計画（2027年3月期～2031年3月期）の概要

- 中期計画の骨子 p.13
  - 戦略1　製品ポートフォリオの抜本的見直し p.14
  - 戦略2　将来に向けた成長戦略 p.15
  - 戦略3　「稼ぐチカラ」の再構築 p.16
  - 戦略4　財務戦略 p.17
  - 戦略5　サステナビリティ経営の推進 p.19

参考資料

- 今後予定される主なプロジェクト p.22
- トピックス p.24
- 主要製品 p.27

© GEOSTR. All Rights Reserved.

2026年度
第2四半期決算

© GEOSTR. All Rights Reserved.

2026年度第2四半期の事業環境

全体概況

- 公共投資は国土強靭化を背景に、底堅く推移
- セグメント市場は大型プロジェクトの端境期により、2027年度にかけて大幅な需要減
  ➡2028年度以降は需要は回復していくものと想定
- 原材料価格・物流費・人件費等の上昇

セグメント分野

- 関西地区の合成セグメントの減少・出荷遅れにより、売上高は減少
- コスト上昇を踏まえた販売価格の改定を推進

土木分野

- 上半期は、予算不足による発注遅延・他工法への変更等により、受注高は減少
- 下半期は、工事進捗による土木製品の出荷増が見込まれており、売上高は増加

© GEOSTR. All Rights Reserved.

2026年度第2四半期の概況

- **事業環境への対応**
  - 製品ポートフォリオの抜本的見直し（大型セグメント端境期を補う土木製品の拡販推進）
  - 社会ニーズ（国土強靭化・人手不足・環境配慮）に対応したプレキャスト製品の開発・提案による競争力強化
- **セグメント製品のチャンピオンポジションの維持**
- **舗装版等の差別化製品を中心としたRC土木の売上拡大**
- **コスト上昇に対する販売価格転嫁の推進**

2026年度第2四半期実績

（単位：百万円）（百万円未満切捨て）

	2025年度 第2四半期実績 A	2026年度 第2四半期実績 B	前期比 C＝B-A	増減率 C/A
売上高	12,580	8,580	△3,999	△31.8%
営業利益	632	144	△487	△77.1%
経常利益	655	193	△462	△70.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	434	951	516	118.9%
配当（円）	4.00	5.00	1.00	―

2026年度第2四半期業績予想公表値

（単位：百万円）（百万円未満切捨て）

	2026年 5月15日 A	2026年 11月6日 B	増減比 C＝B-A	増減率 C/A
売上高	10,600	8,580	△2,019	△19.0%
営業利益	0	144	144	―
経常利益	0	193	193	―
親会社株主に帰属する中間純利益	820	951	131	16.0%
配当（円）	5.0	5.0	0.0	―

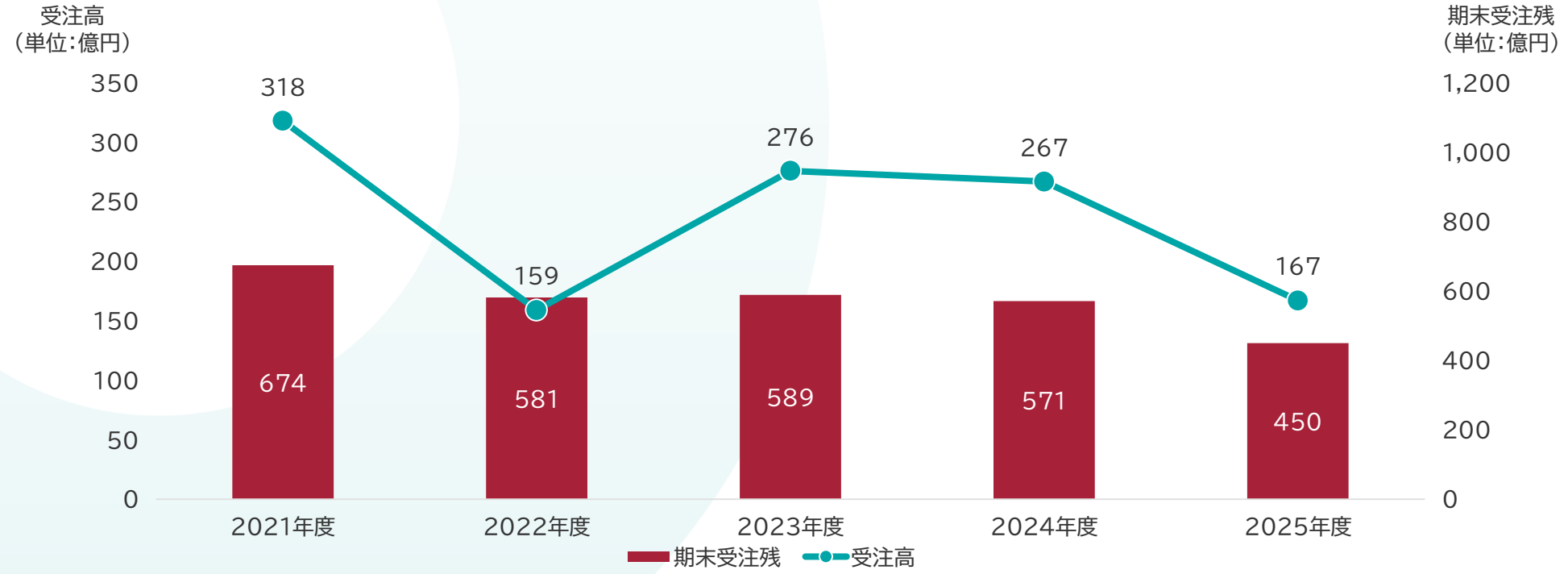
© GEOSTR. All Rights Reserved.

受注高・受注残の推移

● 大型セグメントの端境期に当たり、受注高・受注残高は減少（利益率の高い土木製品の比率増加）

（単位：百万円）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
受注高	31,877	15,916	27,687	26,759	16,753
期末受注残	67,448	58,128	58,906	57,137	45,032



© GEOSTR. All Rights Reserved.

連結財政状態・連結キャッシュフロー

連結財政状態

（単位：百万円）

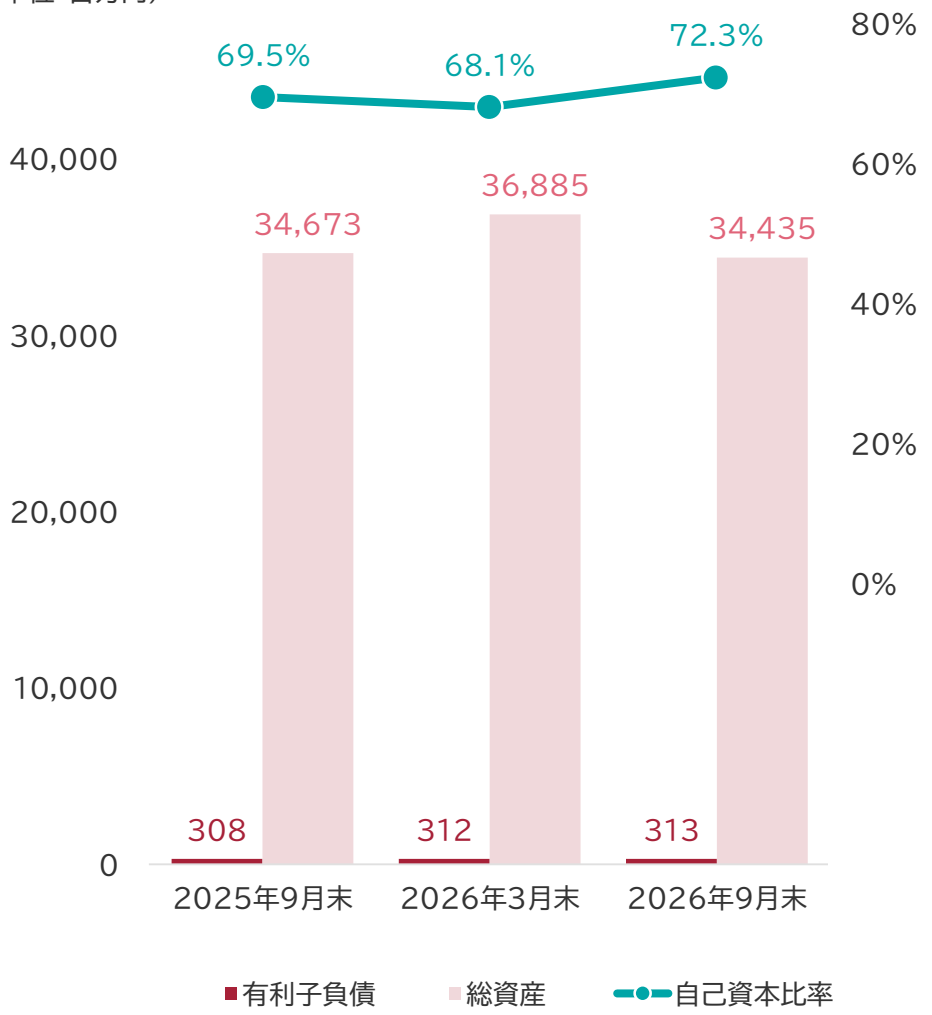
	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
総資産	34,673	36,885	34,435
負債合計	10,584	11,765	9,544
有利子負債	308	312	313
（短期借入金）	270	270	270
（長期借入金）	20	20	20
純資産	24,088	25,120	24,890
自己資本比率	69.5%	68.1%	72.3%

連結キャッシュフロー

（単位：百万円）

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△722	3,026	1,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△661	△599	380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△347	△253	△279
現金及び現金同等物の増減額	△1,731	△2,173	1,550
現金及び現金同等物の期首残高	5,142	4,259	8,005
現金及び現金同等物の期末残高	3,410	6,432	9,555

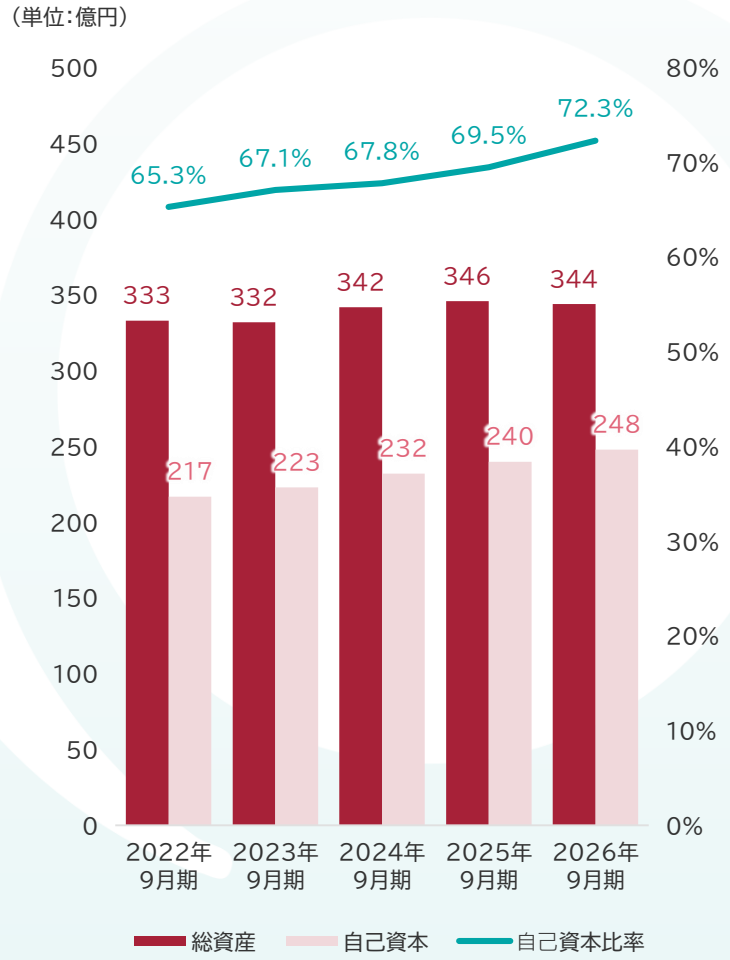
（単位：百万円）



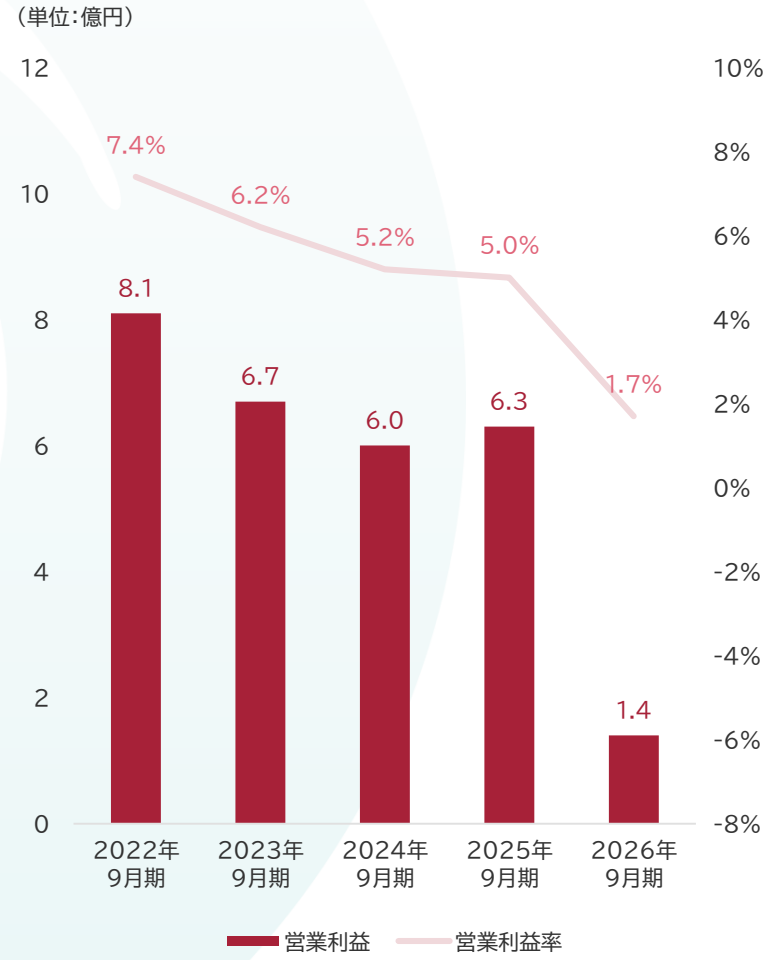
© GEOSTR. All Rights Reserved.

連結主要経営指標

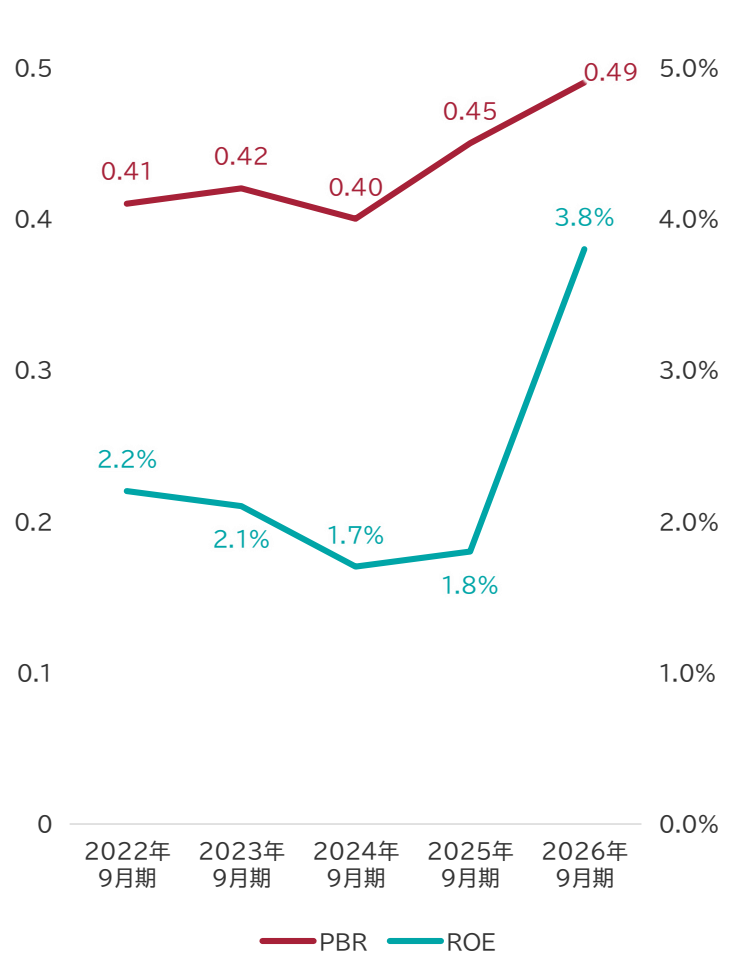
総資産・自己資本・自己資本比率



営業利益・営業利益率



PBR・ROE



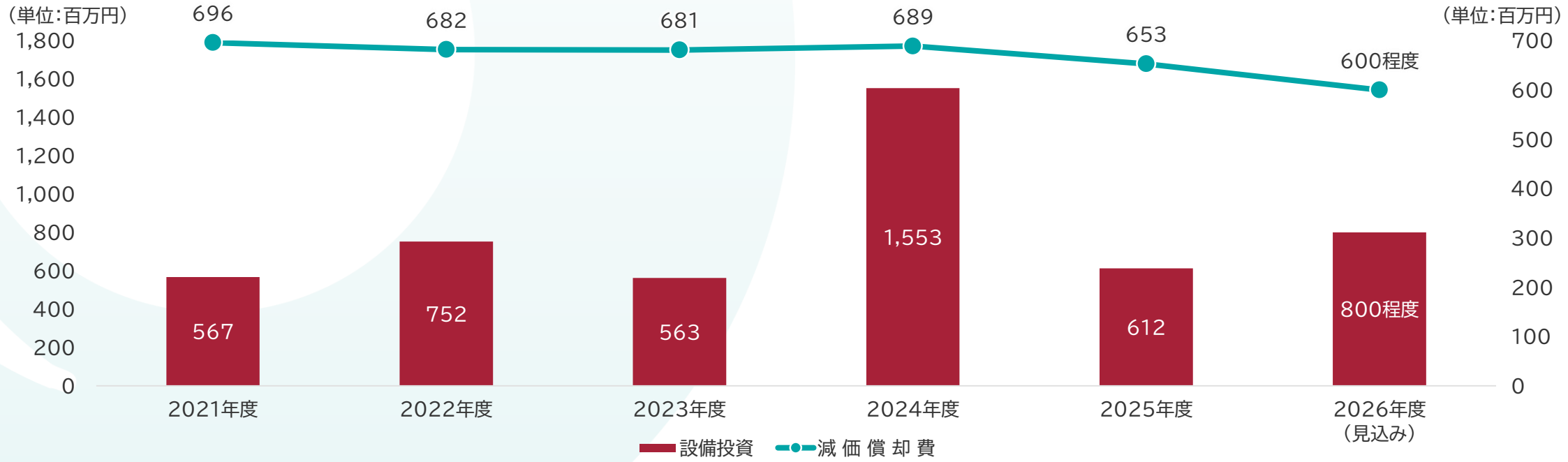
© GEOSTR. All Rights Reserved.

設備投資・減価償却の推移

- 2025年度は、老朽設備の更新を主として6.1億円の設備投資を実施した。

（単位：百万円）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度（見込み）
設　備　投　資	567	752	563	1,553	612	800程度
減　価　償　却　費	696	682	681	689	653	600程度



© GEOSTR. All Rights Reserved.

株主還元

配当実績（2027年3月期中間）	5円	配当予想（2027年3月期）	計10円

利益配分に関する基本方針

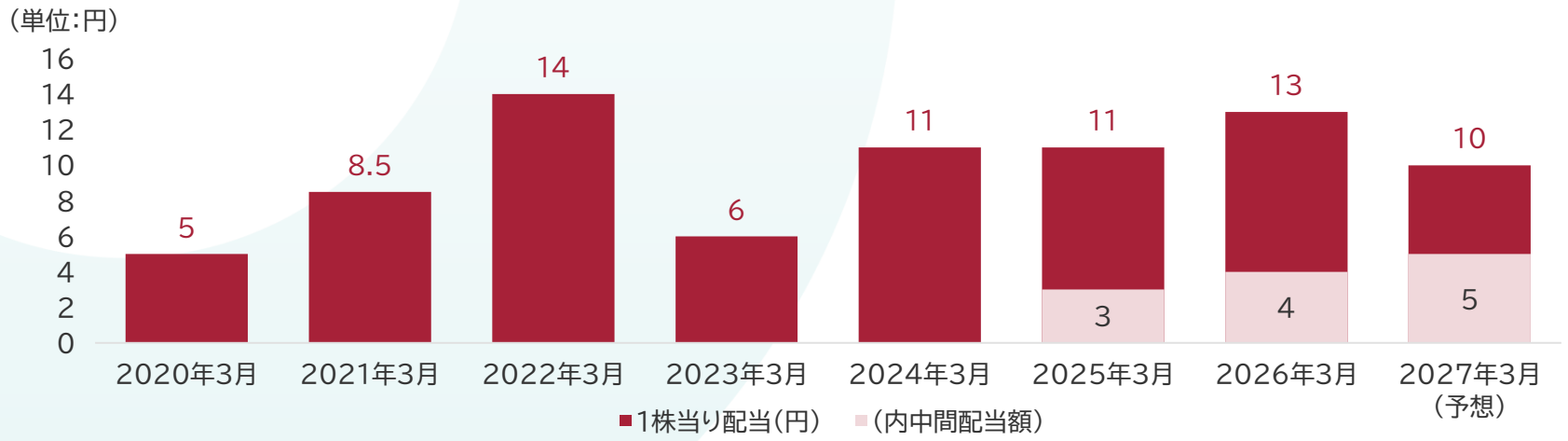
当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した適正　な配当維持に努力することを基本方針といたします。
また、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つと位置付け、内部留保を確保しながら、継続的かつ安定的な配当の実施を図ります。

➡ **連結配当性向年間30%程度を目安とします。**

配当下限値の設定

1株当たり年間配当金**10円**を下限値とします。（2030年度経営計画期間中）

配当金の推移



© GEOSTR. All Rights Reserved.

2026年度
業績予想

© GEOSTR. All Rights Reserved.

2026年度業績予想

業績概要

- 減収減益の見通し(投資有価証券売却益により当期純利益は横ばい)
  - 関西地区合成セグメントの減少によるセグメント製品の売上高が減少
  - 前年度に寄与した販価改定は過年度分を含んだ一過性要素であることから利益率が減少
- 2030年度中期経営計画通りの目標利益(経常利益15億円)

＊ セグメント市場が厳しい中、拡販を計画している土木製品も遅延等により厳しい状況が続いているが、年度目標数値の達成に向けて努力していく所存。

対策

2030年度中期計画の着実な推進による「稼ぐチカラ」の再構築実現

- 利益率の高い土木製品の拡販による製品ポートフォリオの抜本的見直し
- 環境対応・省人化ニーズを捉えた将来に向けた成長戦略の検討・推進
- 販売価格の適正化による収益力向上

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	2025年度 実績		2026年度 業績予想(11/6公表値)			前期比	
	A	比率	第2四半期(累計)	通期 B	比率	増減額 C=B-A	増減率 C/A
売上高	28,858	100.0%	8,580	25,600	100.0%	△3,258	△11.3%
営業利益	2,050	7.1%	144	1,450	5.6%	△600	△29.3%
経常利益	2,104	7.3%	193	1,500	5.8%	△604	△28.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,852	6.4%	951	1,850	7.2%	△2	△0.1%
配当(円)	13.00	-	5.00	10.00	-	△3.00	△23.0%

© GEOSTR. All Rights Reserved.

中期経営計画の概要

（2027年3月期～2031年3月期）

© GEOSTR. All Rights Reserved.

中期経営計画の骨子

経営理念

私たちは、「人の満足を支える」ことを使命とする「ジオウェア・メーカー」です。

「ジオスターが目指すべき姿」

- インフラ建設への貢献を通じ、将来にわたって存在価値を認められる企業
- 働く人が正々堂々と仕事に取り組み、いきいきと能力を発揮できる企業
- 企業価値を高め、持続的な成長を通じて市場からより高い評価を得る企業

中期経営計画2027年3月期～2031年3月期【CAST THE FUTURE 2030】

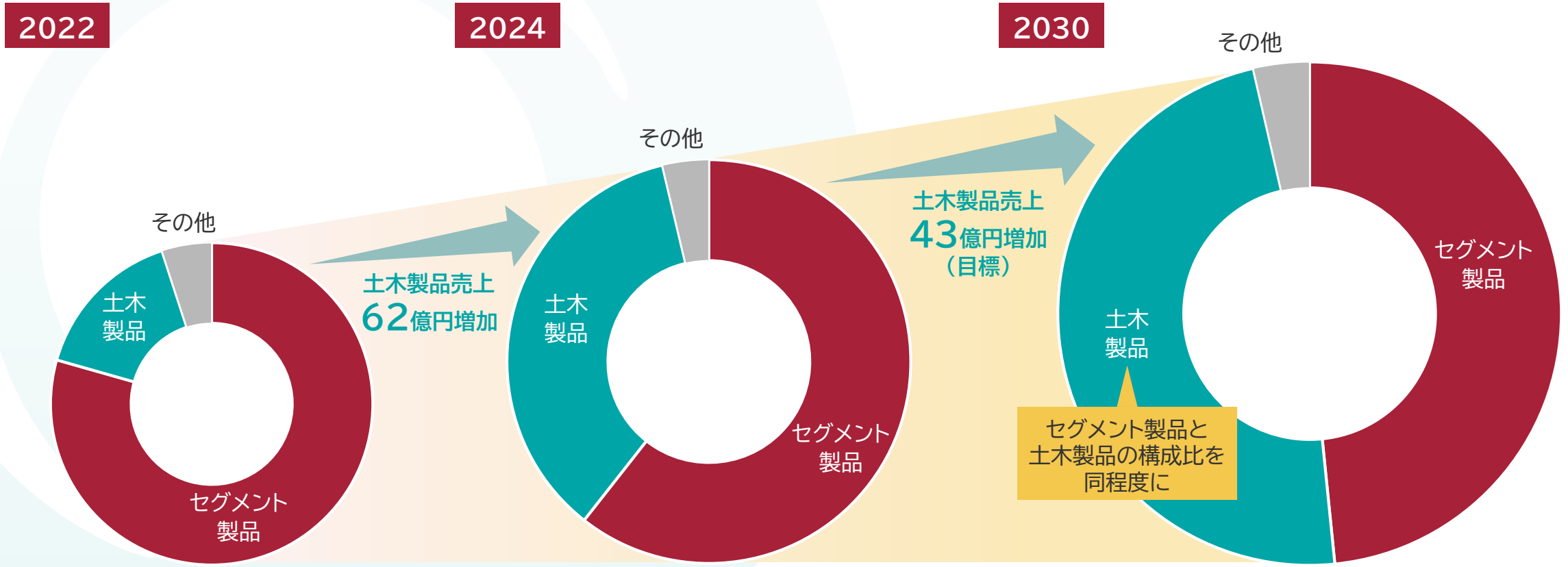
「目指すべき姿」実現に向けた5つの戦略

戦略1	戦略2	戦略3	戦略4	戦略5
製品ポートフォリオの抜本的見直し	将来に向けた成長戦略	「稼ぐチカラ」の再構築	財務戦略	サステナビリティ経営の推進

© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略1　製品ポートフォリオの抜本的見直し

- セグメント製品の安定収益を基盤に、利益率の高い土木製品を重点育成
- 主力土木製品の拡販に加え、新規分野（防衛・建築等）・プレキャスト拡大など成長領域を強化



© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略2　将来に向けた成長戦略

- 環境対応・省人化ニーズを成長機会と捉え、投資・技術・連携を通じた事業成長を加速

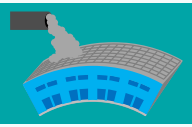
新たな事業拡大への挑戦

M&Aを含む積極的な投資策の実施



- カーボンニュートラル対応製品の採用拡大を見据えた、製品開発・設備投資を強化
- 企業総合力強化に向けたM&Aの検討

プレキャスト普及拡大に向けた活動の推進

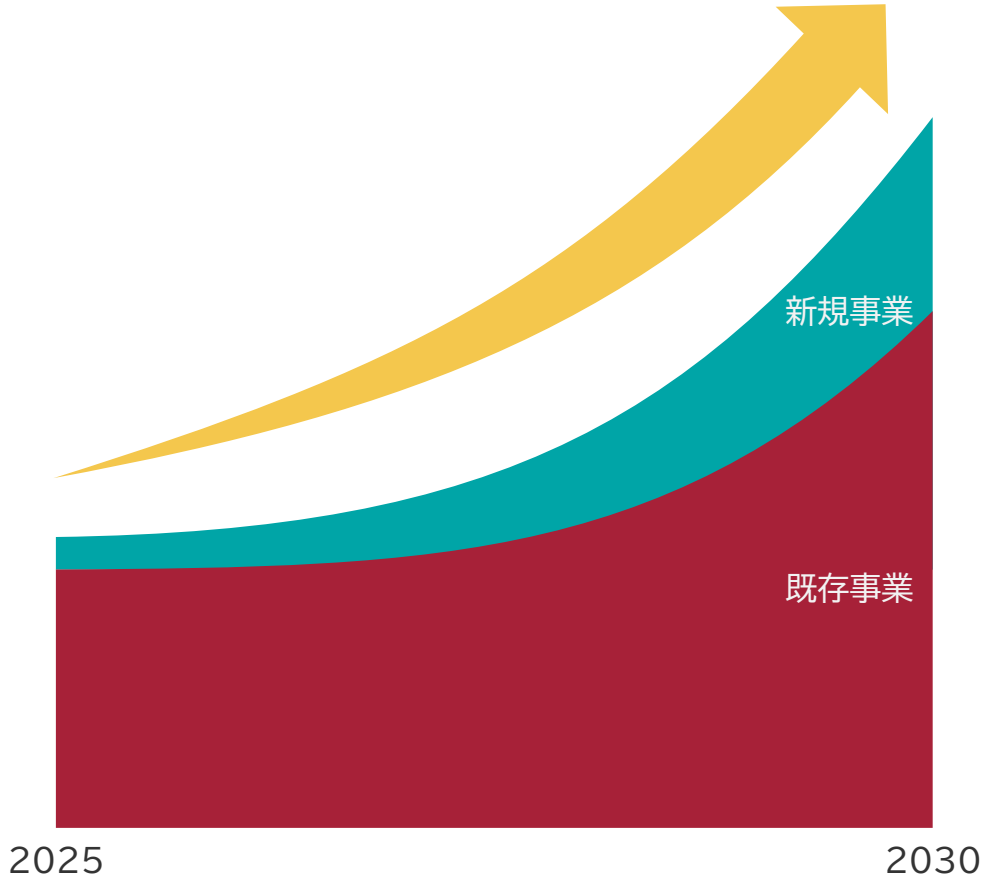


- 人手不足・短工期対応として、施工効率向上に寄与するプレキャスト製品の価値訴求を強化
- 国内プレキャスト利用率は13%※と低水準であり、今後の普及拡大の余地あり
  ※日本コンクリート工学会

日本製鉄グループとしての戦略的優位性

ProStruct Open your future with Structural Steel & Technology × GEOSTR

- 土木製品分野における高い企業競争力を発揮
- 生産技術・利用技術の共有：日本製鉄（鋼材）×当社（コンクリート）の組み合わせで相互補完
- グループ複数企業製品のセット提案等、グループシナジーを最大化



© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略3 「稼ぐチカラ」の再構築

- 製品ポートフォリオの抜本的見直し、将来に向けた成長戦略、財務・サステナビリティ戦略を一体的に推進し、中期経営計画「CAST THE FUTURE 2030」の核心である「稼ぐチカラ」の再構築を実現

重要経営指標

稼ぐチカラの向上（資産の価値創出）	ROE5%以上
安定収益基盤の確立	経常利益率5%以上（安定確保）
社会からの信頼を獲得	売上高300億円以上
人材成長と付加価値の循環	経常利益15億円以上（目標20億円）

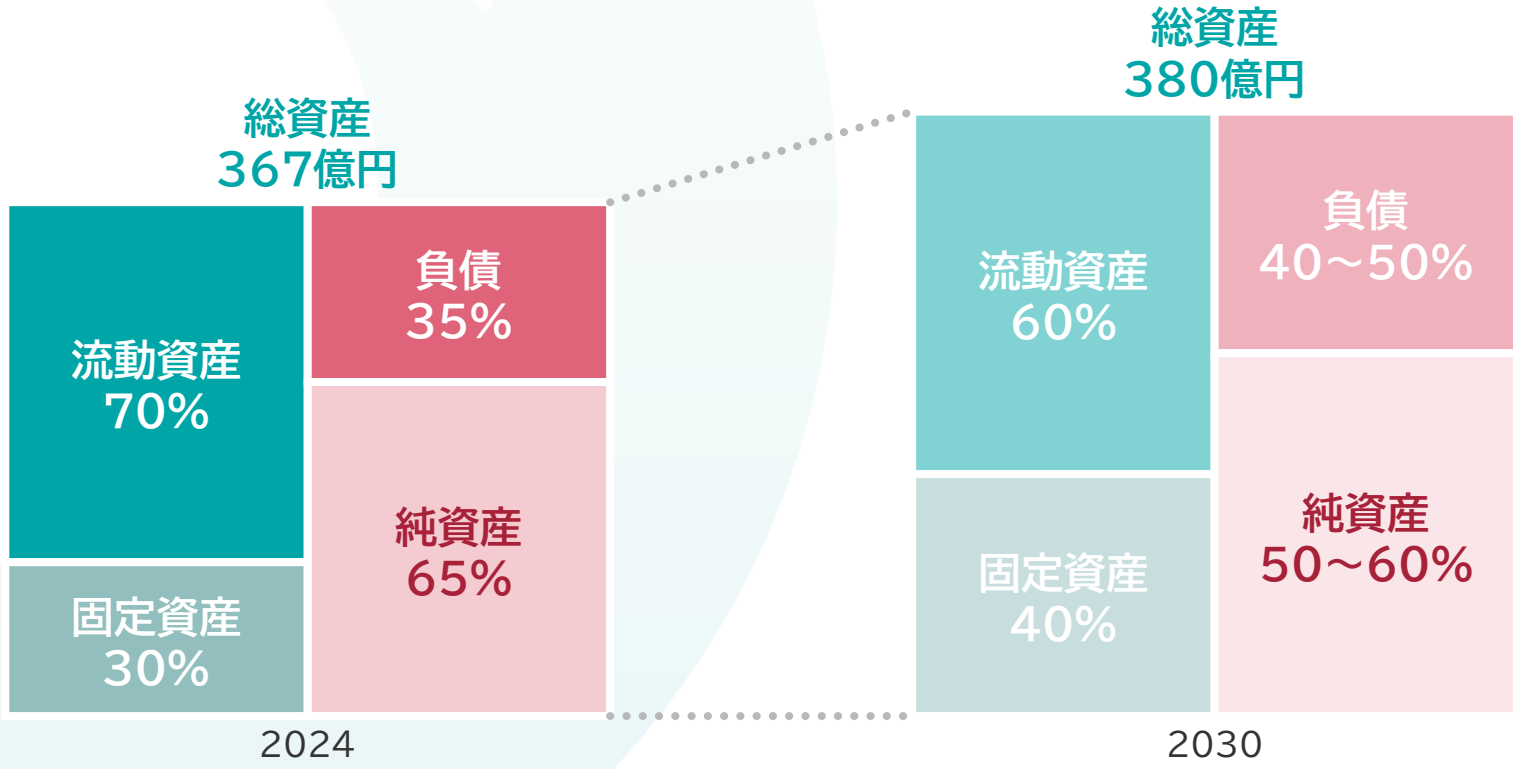
	2025	2030	2040
ROE	5%	5%以上	8%
売上高	276億円	300億円	500億円
経常利益	15.8億円	15億円	30億円

© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略4　財務戦略：バランスシート目標

- 財務健全性と資本効率の両立による最適なバランスシートの構築
  - 成長戦略への純資産有効活用により自己資本比率を最適化
  - 株式保有方針の見直し（政策保有株式の縮減、自己株式取得への活用）

最適なバランスシートを構築して、ROEを5%以上へ



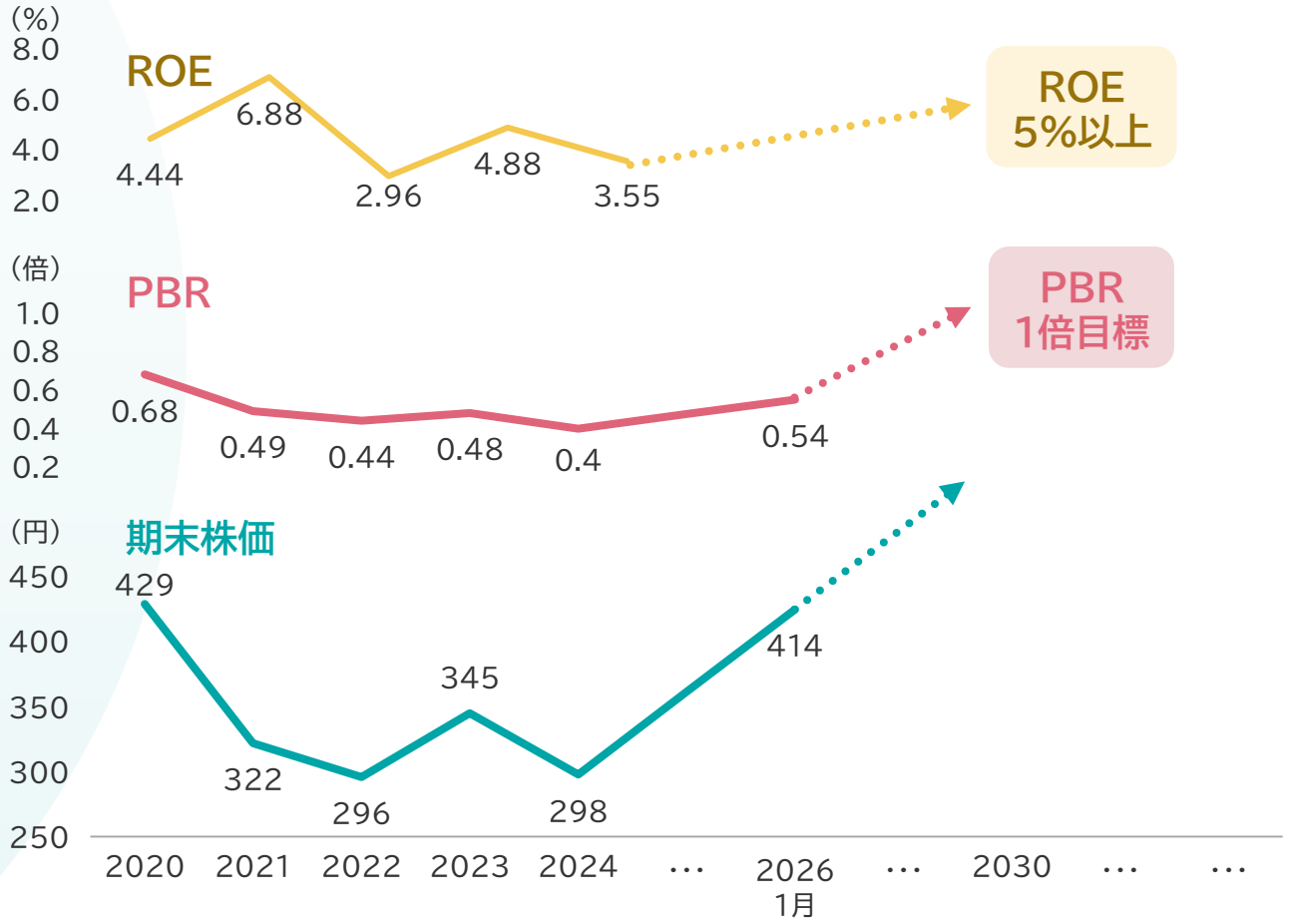
© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略4　財務戦略：株価を意識した経営の推進

- PBR（約0.5倍）⇒当社の技術力や社会インフラ領域における安定収益が市場評価に十分反映されていないと認識
- 株主還元強化等を通じた当社株式の魅力向上が必要

市場評価の改善（PER、PBR）	株主還元の強化	安定配当の継続 ● 配当性向30%程度の維持 ● **配当の下限値の設定** （中計期間中は年間配当金下限10円）
	情報発信の強化	● **中期経営計画「CAST THE FUTURE 2030」を起点とした積極的な市場対話の強化** （2026年より工場見学会実施予定） ● カーボンニュートラル対応をはじめとする**ESG情報の積極的な情報開示**

業績上昇による配当額アップで還元強化

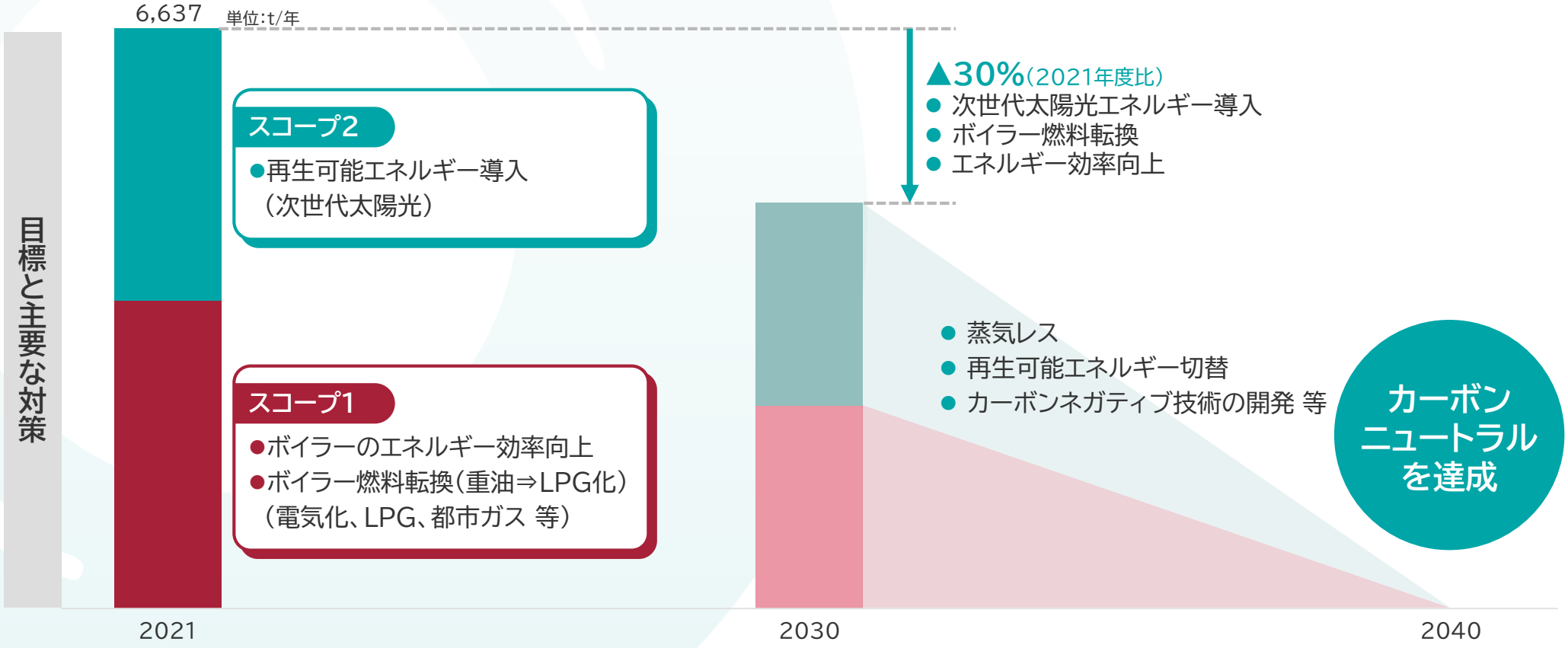


© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略5　サステナビリティ経営の推進：カーボンニュートラルへの挑戦

- カーボンニュートラル(E)への取り組みを起点に、社会(S)・ガバナンス(G)の実践を通じた経営基盤の強化
- 政府目標(2050年)に先駆けた、2040年(努力目標)温室効果ガス排出量ゼロの実現

カーボンニュートラル達成へのロードマップ



© GEOSTR. All Rights Reserved.

戦略5　サステナビリティ経営の推進

Social	人的資本の強化と 能力を発揮するための 職場づくり	●処遇・就業環境の改善 ●育成体制の強化 ●コミュニケーション活性化によるエンゲージメント向上
Governance	コーポレートガバナンス強化	●盤石な内部統制の構築（安全・環境・品質・コンプライアンス） ●親会社である日本製鉄（株）との緊密な連携のもと、 自主経営・独立性を維持し適切なガバナンスを確保
	DX戦略	●IT化による業務標準化・効率化と人材配置の最適化 ●品質向上と生産性向上に資するDX技術の導入

© GEOSTR. All Rights Reserved.

参考資料

© GEOSTR. All Rights Reserved.

今後予定される主なプロジェクト(セグメント分野)

1 善福寺川上流調節池

概　要	大雨による洪水に対応する地下トンネル式調節池		
区　間	杉並区成田西3～西荻北4付近を結ぶ地下トンネル		
延　長	5.8キロ	完成予定	2035年

2 有楽町線延伸

概　要	有楽町線の豊洲駅から住吉駅までの地下鉄延伸工事		
延　長	4.8キロ	完成予定	2030年代半ば(開業)

3 南北線延伸

概　要	南北線の白金高輪駅から品川駅までの地下鉄延伸工事		
延　長	2.5キロ	完成予定	2030年代半ば(開業)

4 多摩川トンネル

概　要	国道357号東京湾岸道路 東京都大田区羽田空港と川崎市川崎区浮島を結ぶ 道路用シールドトンネル		
区　間	大田区羽田空港～川崎区浮島		
延　長	3.4キロ	完成予定	未定

5 淀川左岸線延伸部

概　要	阪神高速2号豊崎出入口から近畿自動車道と第二京阪道路 の門真JCTに接続する高速道路計画		
区　間	豊崎IC ～門真JCT		
延　長	8.7キロ	完成予定	未定

6 京奈和自動車道大和北道路

概　要	京奈道路の木津IC付近から西名阪自動車道までの区間延長 約12.4キロの道路		
区　間	奈良県奈良市歌姫町～奈良県大和郡山市横田町		
延　長	12.4キロ	完成予定	未定

7 なにわ筋線

概　要	大阪駅(うめきたエリア)とJR難波駅および南海新今宮駅を 結ぶ鉄道路線 (西本町駅を境にJRルートと南海ルートに分かれる)
延　長	約7.2キロ(地下6.5キロ、堀割・盛土0.3キロ、高架0.4キロ)
完成予定	2031年春開業予定

© GEOSTR. All Rights Reserved.

今後予定される主なプロジェクト(土木分野)

1 防衛・空港関連施設

概　要

- 全国の空港、防衛関連施設への舗装版適用
- 火薬庫整備等へのプレキャスト部材提案

2 港湾整備

概　要

- 東京港・横浜港埠頭におけるコンテナヤードの拡張計画へのプレキャスト部材適用

3 道路分野(自動物流道路　等)

概　要

- 東京～大阪間(500km)で計画される自動物流道路の試験工事への参画(2027年度以降)
- ミッシングリンク解消工事や高速道路リニューアル工事へのプレキャスト部材適用

4 リニア関連整備

概　要

- 車両基地に使用するプレキャスト部材、フード等

5 農業排水路

概　要

- 昭和年代に建設された老朽化の激しい農業排水路の改修工事へのコンクリート矢板適用

© GEOSTR. All Rights Reserved.

トピックス1

大断面カルバート構築の現場採用

用途

- 自動車専用道の拡幅に伴うアンダーパス構築工事

特許技術の活用

- 直接設置による構築が可能なプレキャスト化の実現

採用経緯

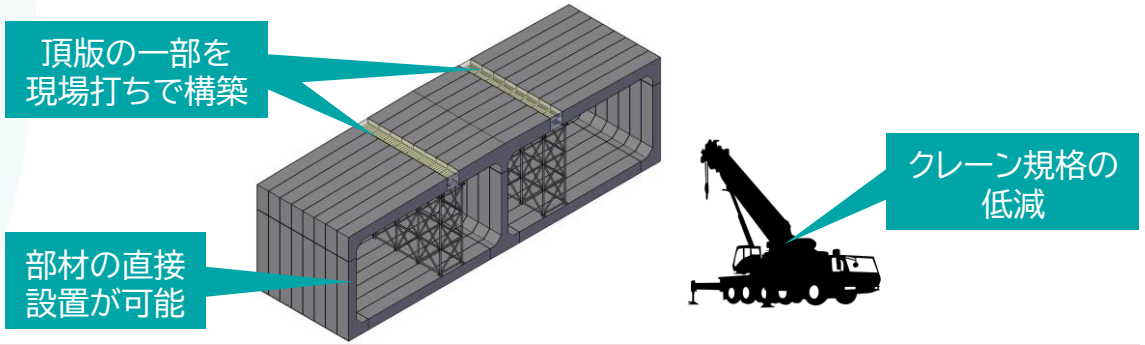
- 現場打ちを最小限にした交通規制期間の最短化
- 特殊・大型重機を使用せず、設置組立が一度に可能

今後の展望

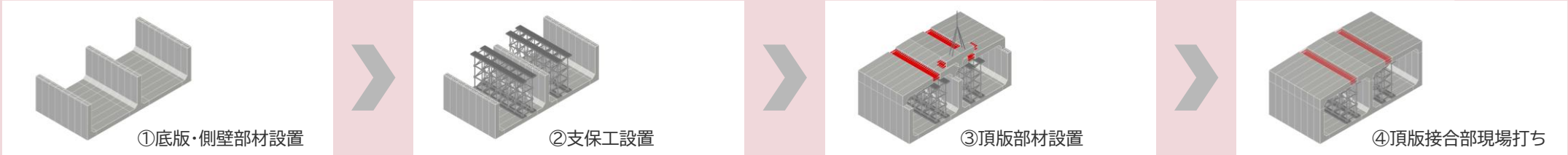
- 道路の渋滞緩和を目的に、車線の拡幅計画は全国的に増加する傾向
  ➡当社の新しい構造・工法のオリジナル技術を様々な現場へ
  ソリューション提供していく

現場写真





施工手順



© GEOSTR. All Rights Reserved.

トピックス2

DXによる検査の省力化と高精度化 三次元測定機の導入

プレキャストコンクリート用の検査として三次元測定機による「3Dスキャン」を導入

背景

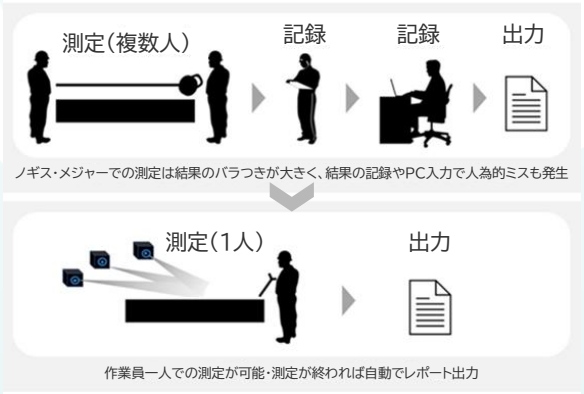
検査体制の再構築

- 市場要求による検査精度の高度化への対応
- 製品品質の確保とコンプライアンスの順守
- 人材不足による検査員確保対策と要求技能の簡素化

特長

- 機械算定(1/1000mm台)による測定精度向上と製品全面の可視化
- 図面との直接連携によるミス防止と報告書への自動連動による改竄防止
- 検査員の削減と検査員教育の簡素化

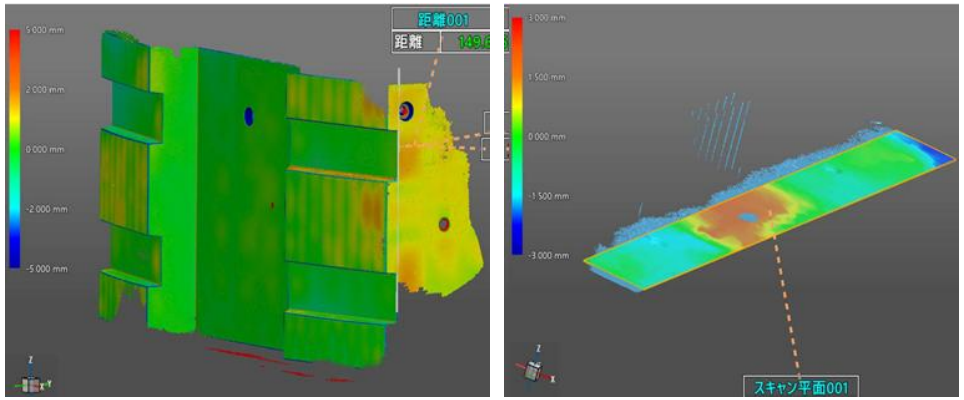
検査方法・体制の変更



図面(:3Dデータ)との直接照合



3次元的な製品詳細の可視化



© GEOSTR. All Rights Reserved.

トピックス3

完全子会社のジオファクト株式会社の吸収合併について

合併の目的

機能の一体化による安定基盤の構築

- 営業・技術・製造・管理機能を一体化し、将来にわたり安定した事業運営を支える基盤の構築

人材の最適配置による技術力の維持・強化

- 人材の全社最適配置や採用力向上を通じた世代交代を図り、製造ノウハウの継承や技術力の維持・強化

経営効率の改善による収益基盤の確立

- 経営効率の更なる改善により、持続的な成長を支える収益基盤及び事業基盤の確立

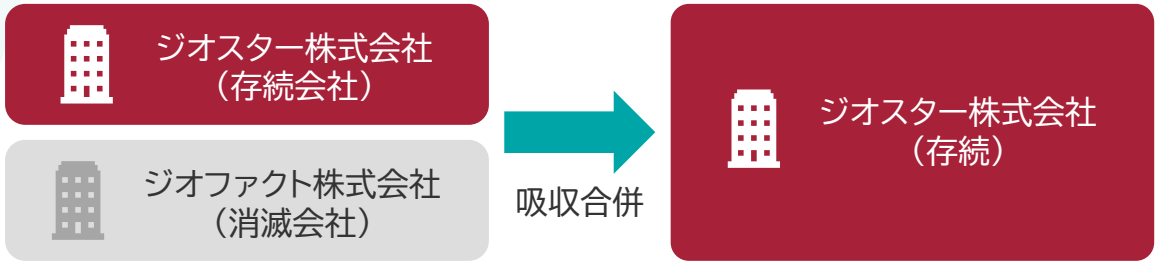
合併の日程

合併に係る取締役会決議日	合併契約締結日	合併効力発生日
2026年11月6日	2026年12月25日（予定）	2027年4月1日（予定）

※ 本合併は、会社法第 796 条第 2 項に規定する簡易合併、ジオファクトにおいては会社法第 784 条第 1 項に規定する略式合併に該当するため、両社いずれにおいても、合併契約承認のための株主総会は開催いたしません。

合併の方式

ジオスター株式会社を存続会社、ジオファクト株式会社を消滅会社とする吸収合併方式



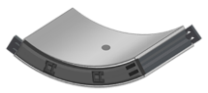
© GEOSTR. All Rights Reserved.

主要製品

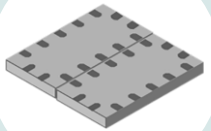
安心・安全な社会を形づくる、コンクリート土木製品「ジオウェア※」を展開

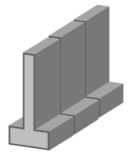
セグメント


RCセグメント

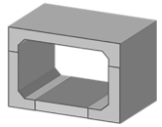

合成セグメント

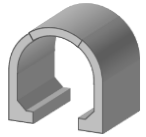

銅製セグメント


舗装版


防潮堤

ジオウェアカルバート


Box


アーチ

※「ジオウェア」とは、当社が提供する地球環境親和性の高い製品および、それらを生み出す技術の総称です。

© GEOSTR. All Rights Reserved.

ジオスター株式会社
〒112-0002
東京都文京区小石川1-4-1　住友不動産後楽園ビル

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任をおいません。

© GEOSTR. All Rights Reserved.